

1 単元名 現代の日本と世界

垂井町立不破中学校
堀 昭之

「日本の民主化と国際社会への参加」(全4時間)
「国際社会と日本」(全5時間)

2 単元のねらい

第2次世界大戦後の日本の民主化と再編、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解することができる。
高度経済成長以後の日本と世界の動きを、国民の生活に関連させながら、現代までの概要を理解することができる。
国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持つことができる。

3 単元で培いたい学び方

国際復帰をするまでの動きと高度経済成長以降の動きなどから課題を見だし、我が国の民主化の動きや経済科学技術の発展、国民生活の向上を背景に追求することができる学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 歴史的分野の内容(5)キク

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
国際復帰をするまでの動きと高度経済成長以降の動きなどに対する関心を高め、それを意欲的に追究し、国民生活の向上と国際社会における日本の役割について考えようとしている。	国際復帰をするまでの動きと高度経済成長以降の動きを多面的・多角的に考察し、国民生活の向上と国際社会における日本の役割について、様々な考え方や立場から公正に判断している。	国際復帰をするまでの動きと高度経済成長以降の動きに関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	国際復帰をするまでの動きと高度経済成長以降の動きを理解し、国民生活の向上と国際社会における日本の役割についての知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	戦後の日本の民主化と国際社会への復帰、高度経済成長後の国民生活の向上と国際社会における日本の役割について関心を持ち、意欲的に追求している。	戦後の日本の民主化と国際社会への復帰、高度経済成長後の国民生活の向上と国際社会における日本の役割について、その特色や背景を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	戦後の日本の民主化と国際社会への復帰、高度経済成長後の国民生活の向上と国際社会における日本の役割についての写真、グラフなど様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	戦後の日本の民主化と国際社会への復帰、高度経済成長後の国民生活の向上と国際社会における日本の役割について理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	戦後直後の日本と現在の様子から、戦後の復興について関心を高めようとしている。 日本の経済と国際社会に関心を高めようとしている。	仲間の発表から課題に対しての自分の考えを深めている。 日本が独立し、国際社会に復帰できた理由を考えることができる。 国民総生産の伸びについて自分の考えを持つことができる。 世界の中での日本の立場について考えることができる。	資料から日本がどのような国をめざしたのか読み取ることができる。 資料から東西冷戦がアジアへ与えた影響について読み取っている。 国民総生産の変化を読み取っている。 日本の抱えている問題を資料から読み取っている。 今日の世界の現状を資料から読み取っている。	国際連合の成立と冷戦のアジアへの影響を理解している。 日本が国際連合に加盟し、国際社会に復帰できたことを理解している。 国際社会の中で日本に求められている役割が大きくなっていることを理解している。 平和で民主的な地球社会を築くことの大切さを理解している。

